

関係各位

九州地方整備局  
関門航路事務所長

## 関門航路[南東水道地区]における浚渫工事等のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
また、平素より当局実施の関門航路整備事業について、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
今般、関門航路整備事業のうち、南東水道地区において別添リーフレットのとおりに、潜水探査及び、浚渫工事を実施する予定にしておりますので作業期間中のご協力を宜しく申し上げます。

敬具

問い合わせ先
● 浚渫工事に関すること、リーフレットに関すること 関門航路事務所 海洋環境・防災課 TEL 093-512-8099 FAX 093-512-8106 担当者 藤丸 (ふじまる) E-mail: fujimaru-i893f@mlit.go.jp 内田 (うちだ) E-mail: uchida-m89sh@mlit.go.jp
● 潜水探査に関すること 関門航路事務所 建設管理班 TEL 093-512-8098 FAX 093-512-8106 担当者 小田 (おだ) E-mail: oda-e898x@mlit.go.jp 本村 (もとむら) E-mail: motomura-k87s3@mlit.go.jp

※リーフレットは九州地方整備局 関門航路事務所ホームページにも掲載しております。  
<https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kanmon/>

## リーフレット送付に関するお願い

本リーフレットにつきましては、従来通りの宛先で送付しておりますが、宛名及び住所の変更、送付部数の変更、資料送付停止等がございましたら、下記の事項にご記入の上、本工事の担当者までにFAXにてご連絡下さい。

(早急にご連絡頂けますと大変助かりますので、ご協力を宜しくお願い致します。)

■ 会社名・団体名・お名前

■ 住所

■ 電話 ( ) - ■ ご担当者名

■ 該当する項目に○をお付け下さい。

- |         |           |       |
|---------|-----------|-------|
| ① 宛名の変更 | ③ 送付部数の変更 | ⑤ その他 |
| ② 住所の変更 | ④ 資料送付停止  |       |

変更事項・連絡事項をご記入下さい。



今回は韓国語版も作成し、ホームページにのみ掲載しておりますので必要の方はホームページをご確認ください。  
また、若干の期間変更など微細な修正等を行った場合は、当事務所ホームページのみ掲載となりますのでホームページをご確認ください。

# 関門航路[南東水道地区]潜水探査及び浚渫工事のお知らせ

今般、下記により関門航路[南東水道地区]の潜水探査及び浚渫工事を実施しますので、付近海域の航行船舶は、十分な注意と作業へのご協力をお願い致します。

## 1. 工事作業期間について(気象等の影響により若干変わる事があります。)

地区名	種別	作業船種	隻数	区分	予定期間	作業時間	警戒船
南東水道地区	潜水探査	潜水士船	16隻(最大)	7・14工区	R4.10月上旬~R4.11中旬	日の出~日没	4隻
	浚渫船	ドラグサクシオン式浚渫船	1隻	7・14工区	R5.1中旬~R5.3下旬	昼・夜	-

※予定期間の詳細又は変更については、関門航路事務所ホームページにてお知らせします。  
(<https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kanmon/>)

## 2. 工事作業の場所.....南東水道地区(図-1参照)

## 3. 工事作業の概要及び安全対策

### 3-1 潜水探査

- 潜水士船は最大16隻を航路に平行になるように配置します。(図-2参照)
- 潜水士船1隻に1名の潜水士を投入します。
- 潜水士船には、国際信号旗「A旗」を示す信号板を揚げ、潜水探査中であることを明示します。(図-3参照)
- 潜水探査作業中は、警戒の標識(緑、黄、緑の吹き流し)を揚げた警戒船4隻(内1隻は国際VHF無線を装備したもの)を配置します。(図-2、4参照)
- 潜水作業中は、作業区域の四隅及び長さ方向が300mを超える場合は中間に俵ブイを配置します。(図-2、5参照)
- 航路中心線から北側で潜水探査を行っているとき、1万GT以上の西航船がある場合は航路外に退避します。また、航路中心線から南側で潜水探査を行う場合、1万GT以上の東航船がある場合は航路外に退避します。なお、退避の際は俵ブイも撤去します。
- 現地の天候により危険と判断した場合は作業を中止します。  
(視界2,000m未満、波高0.7m以上、風速10.0m/sec以上)

### 3-2 浚渫工事

- 国有ドラグサクシオン式浚渫船「海翔丸」にて、航路に平行に浚渫工事を実施します。(図-6、7参照)
- 浚渫船には、海上衝突予防法の規定による灯火及び形象物を揚げ、浚渫工事中であることを明示します。(図-8参照)

## 4. 情報の提供

作業情報は、下記で取り扱っています。

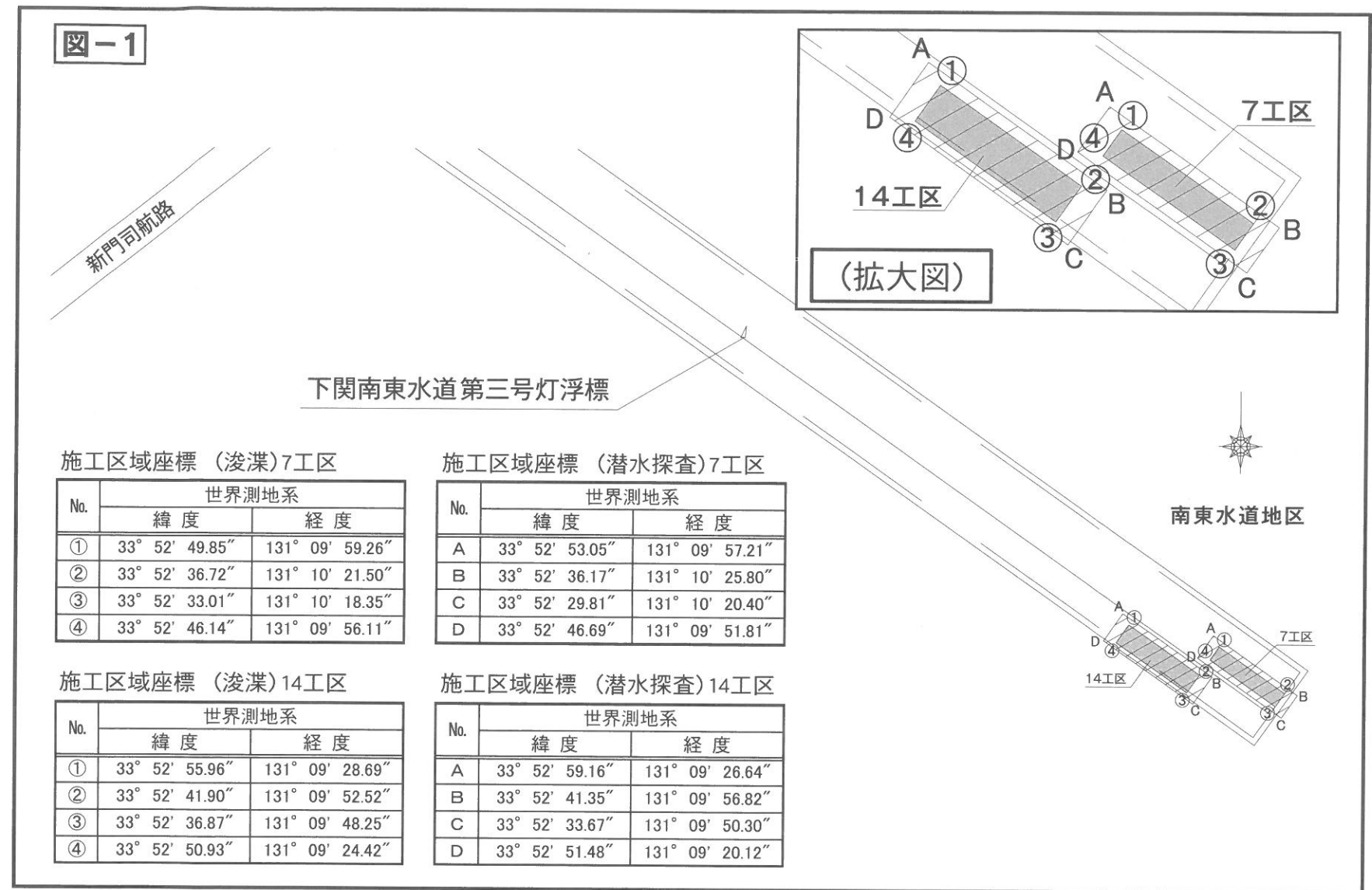
〈九州地方整備局 関門航路事務所〉

潜水探査関係：建設管理班

TEL 093-512-8098 FAX 093-512-8106

浚渫工事関係：海洋環境・防災課

TEL 093-512-8099 FAX 093-512-8106



施工区域座標 (浚渫)7工区

No.	世界測地系	
	緯度	経度
①	33° 52' 49.85"	131° 09' 59.26"
②	33° 52' 36.72"	131° 10' 21.50"
③	33° 52' 33.01"	131° 10' 18.35"
④	33° 52' 46.14"	131° 09' 56.11"

施工区域座標 (潜水探査)7工区

No.	世界測地系	
	緯度	経度
A	33° 52' 53.05"	131° 09' 57.21"
B	33° 52' 36.17"	131° 10' 25.80"
C	33° 52' 29.81"	131° 10' 20.40"
D	33° 52' 46.69"	131° 09' 51.81"

施工区域座標 (浚渫)14工区

No.	世界測地系	
	緯度	経度
①	33° 52' 55.96"	131° 09' 28.69"
②	33° 52' 41.90"	131° 09' 52.52"
③	33° 52' 36.87"	131° 09' 48.25"
④	33° 52' 50.93"	131° 09' 24.42"

施工区域座標 (潜水探査)14工区

No.	世界測地系	
	緯度	経度
A	33° 52' 59.16"	131° 09' 26.64"
B	33° 52' 41.35"	131° 09' 56.82"
C	33° 52' 33.67"	131° 09' 50.30"
D	33° 52' 51.48"	131° 09' 20.12"

図-2 潜水探査作業船配置図

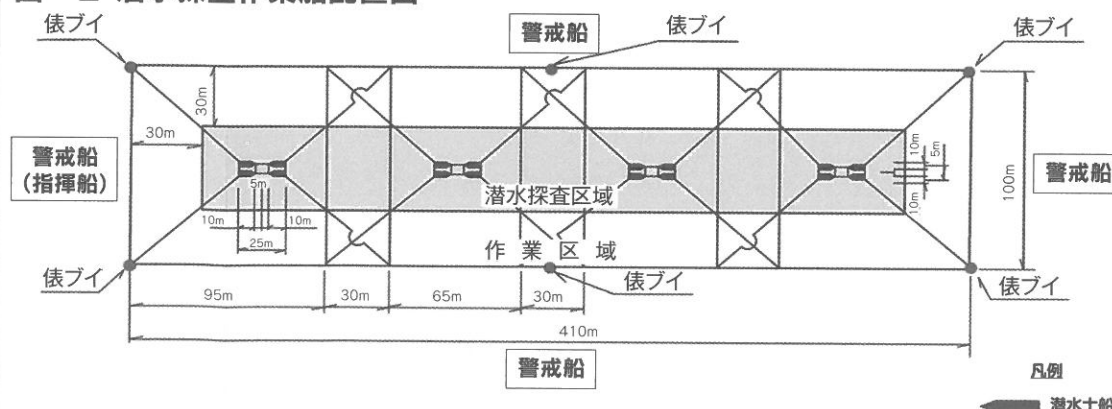


図-3 潜水士船の標識

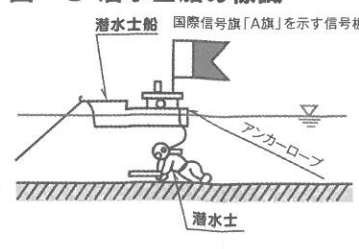


図-4 警戒船の標識

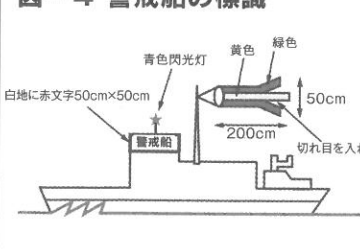


図-5 俵ブイ詳細図

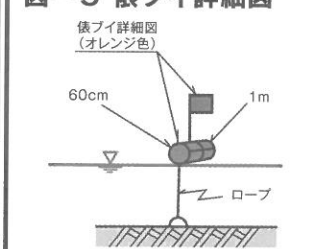


図-6 浚渫船「海翔丸」の作業状況平面図

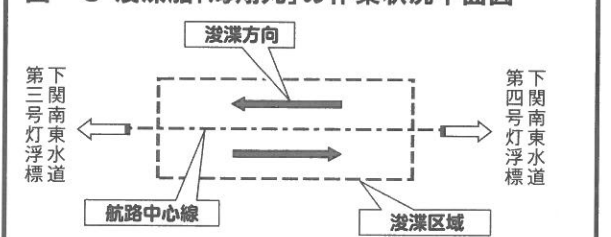


図-7 浚渫船「海翔丸」の作業状況側面図

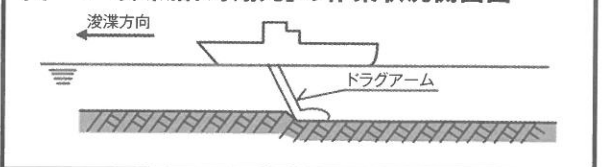


図-8 浚渫船「海翔丸」の灯火及び形象物

